

平成29年度 府立学校リーダー養成研修 実施要項

- 1 目的 今後の府立学校を支えていくために、各学校のリーダーとなるための幅広い素養を身に付けることを目的とする。
- 2 対象者 原則として、教職経験5年以上の教諭・養護教諭・栄養教諭及び首席・指導教諭・指導養護教諭・指導栄養教諭、各校各課程1名。

募集人数 100名

3 研修内容等

回	日時	研修内容	講師等
1	5月29日(月) 14:00~17:00	大阪府の教育課題 リーダー養成研修を受講するに当たって ミドルリーダーに期待すること 〔講義〕	教育センター所長 大阪府教育庁 指導主事 府立学校長等
2	7月28日(金) 14:00~17:00	学校経営計画の理解 アクションプランの作成に向けて —課題の発見からプラン作成へ— 〔講義・演習〕	大阪府教育庁 指導主事 教育センター 指導主事
3	8月23日(水) 14:00~17:00	アクションプランの作成及び考察 〔講義・演習・研究協議〕	教育センター 指導主事 府立学校長等
4	10月20日(金) 14:00~17:00	チームビルディング —組織の中でどう動くのか— 〔講義・演習〕	民間企業従事者等
5	12月11日(月) 14:00~17:00	アクションプランの実践報告 —研修成果の報告と今後の方向性— 〔講義・研究協議〕	教育センター 指導主事
6 (必須選択)	7月11日(火) 14:00~17:00	E 考えるスキル、伝えるスキル —科学的に思考を整理・構成するには— — 〔講義・演習〕	大学教授
	9月15日(金) 14:00~17:00	F 学校組織マネジメント —ミドルリーダーとしての役割— 〔講義・演習〕	大学教授
	12月4日(月) 14:00~17:00	G 支援教育 —共生推進教室、高等支援学校の取組から— 〔講義・演習〕	教育センター 指導主事 府立学校教諭等

※留意点 第6回(必須選択)は、E~Gのうち1コースを選択します。ただし、「府立学校首席研修」との共通研修です。選択希望については、後日、別途調査します。

4 会 場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話 06-6692-1882）

地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

5 担 当 室 学校経営研究室

- 6 そ の 他
- (1) 受付は30分前から
 - (2) 印鑑を持参すること
 - (3) 来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること
 - (4) 自家用自動車・バイク等で来所しないこと
 - (5) 事前に準備しておく事項があるので、シラバスを必ず確認しておくこと

個別募集

平成 29 年度 研修のシラバス

1. 研修名	府立学校リーダー養成研修 (研修番号 1469)
2. 研修のねらい	今後の府立学校を支えていくために、各学校のリーダーとなるための幅広い素養を身に付けることを目的とする。 「スクールリーダースタンド」該当項目：リーダー養成期、首席期

3. 研修課題とねらい等

回	研修課題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	大阪府の教育課題	大阪府の教育の現状と課題について認識を深める。	大阪府の教育課題を踏まえて現場の教員に期待することについて講義を行う。	
	リーダー養成研修を受講するに当たって	リーダー養成研修の趣旨や、リーダーに求められる役割について認識を深める。	リーダー養成研修の趣旨、リーダーとして求められる役割等について講義を行う。	
	ミドルリーダーに期待すること	管理職の講義を通し、学校運営の中で自身が担うべき役割について考察する。	管理職の立場から、組織の中でミドルリーダーに期待することについて講義を行う。	
2	学校経営計画の理解	学校経営計画について理解を深め、自校の学校経営計画を考察する。	自校の学校経営計画を理解し、その具現化のための方策について考察を深めることをねらいに講義や演習を行う。	準備物 自校の「平成 29 年度学校経営計画及び学校評価」(1部)
	アクションプランの作成に向けて —課題の発見からプラン作成へ—	<ul style="list-style-type: none"> ●アクションプランの作成に向けて、自校の学校経営計画を踏まえ、現状の分析と、課題設定の考え方について理解する。 ●自校の課題分析の方法や、プラン作成の考え方について理解する。 	自校の現状の分析や、課題を設定の考え方について、整理し、ミドルリーダーとしての自分の役割を意識して、アクションプランを作成する方策についての講義と演習を行う。	
3	アクションプランの作成及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ●班別協議を通して、他校でのミドルリーダーの取組を知る。 ●班別協議、指導助言を踏まえ、アクションプランを考察する。 	アクションプランの素案を考察し、より具体的なプランの作成につながるよう、班別協議及び指導助言を行う。	事前課題 作成中の「アクションプラン」(1部)

4	チームビルディング —組織の中でどう動くか—	チームビルディング及びリーダーシップの基本について学び、組織の中で自分がどう動くか、また人をどう動かすかについて認識を深める。	講義・演習を通してチームビルディング（組織関係づくり）の基本を学び、自校組織の課題解決に向けて、自らが果たす役割を認識する。	
5	アクションプランの実践報告 —研修成果の中間報告と今後の方向性—	研修成果の中間報告を通して、自身の取組を振り返り、今後の取組に向けての方向性について考察する。	自分自身のアクションプランの評価及び、取組の改善を探るべく、自身が作成したアクションプランに基づいて、班別の実践発表及び指導助言を行う。	事前課題 「アクションプラン」
6 (必修選択)	E 考えるスキル、伝えるスキル —科学的に思考を整理・構成する—	課題解決、提案、説明時に生かすことのできる科学的な思考のプロセスについて学ぶ。	自校の課題を整理することと発信力の向上、科学的に思考することをねらいに、大学教授による講義、演習を行う。	
	F 学校組織マネジメント —ミドルリーダーとしての役割—	<ul style="list-style-type: none"> ●効果的な組織マネジメントの方法について理解を深める。 ●学校組織をイメージし、組織の中での自分自身の役割について考察する。 	効果的な組織マネジメントの方法について、学校組織マネジメントの実例を踏まえ、受講者のマネジメント力の向上をねらいに、大学教授の講義を行う。	
	G 支援教育 —共生推進教室、高等支援学校の取組から—	<ul style="list-style-type: none"> ●インクルーシブ教育システムの構築に向けて、取り組むべき内容について理解を深める。 ●各学校での実践から支援教育について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●大阪府における支援教育の現状や課題、インクルーシブ教育システムの構築に向けて、取り組むべき内容について講義を行う。 ●各校での支援教育の実践に生かす事を目的として、共生推進教室、高等支援学校の取組の実践発表を行う。 	